

独立行政法人国立病院機構金沢医療センター附属金沢看護学校授業計画 (Syllabus)

分野	授業科目名	単位数	時間数	開講時期
専門基礎	解剖生理学 I	1	30	1 年次 ・ 1 学期
担当講師	非常勤講師			
授業概要	人間を生命ある生物として見つめ、人体の発生・形態・機能と自分の生命を支える防御機能、調節機構を維持する力と身体と成熟による身体的変化を系統的、体系的に学ぶ。			
授業目標	1. 人体を構成する細胞、組織、器官の基本的構造を学びその機能の理解を助ける。 2. 人体の正常機能を物理的・科学的に理解し、病的状態の理解を助ける。			
回数	授業内容			担当者
第 1 回	1. 解剖生理学総論			
第 2 回	1) 人体各部の区分 人体各部位の名称・体表からの方向を示す面と線			
第 3 回	2) 人体の構成 系統 (器官系) ・細胞・組織・器官			
	2. 骨格系			
	1) 骨の一般について 骨の働き・骨の形状と構造・骨の発生と成長・骨の連結			
	2) 各部の骨格 骨格の名称と数・各骨格の構造・代表的な関節の構造			
	3. 筋系			
	1) 筋系総論 形状・筋の名称・筋の補助装置			
	2) 人体各部の筋 骨格筋の区分・頭頸部の筋・胸腹部の筋・背部の筋・上肢の筋・下肢の筋			
	3) 筋の生理 筋の収縮・筋収縮の様式			
第 4 回	4. 循環器系			
~6 回	1) 血管系 血管の構造・心臓・血液の循環系			
	2) リンパ系 リンパ管・リンパ節・脾臓・胸腺			
	3) 心臓の生理 自働性と刺激伝導系・心臓の収縮・心電図			
	4) 血圧と脈拍			
第 7 回	5. 体液・血液			
第 8 回	1) 体液 体液区分・体液バランス・体液の組成・酸塩基平衡・組織間液とリンパ			
	2) 血液 血液の一般的性質・血液の働き・血液の成分・血液凝固・赤血球沈降速度・血液型・脾臓の働き・免疫機能			
第 9 回	6. 神経系			
~11 回	1) 神経系総論 (神経の発生・脳室・髄膜・脳脊髄液の循環・神経の興奮発生と伝導)			
	2) 中枢神経系 (脊髄・脳・伝導路)			
	3) 末梢神経系 (脳脊髄神経・自律神経)			
第 12 回	7. 感覚器系			
~13 回	1) 感覚器総論			
	2) 感覚器官 (視覚器・平衡聴覚器・味覚器・嗅覚器・外皮)			
	3) 感覚 (体性感覚・内臓感覚・特殊感覚)			
第 14 回	8. 体温とその調節			
	1) 体温 (体温の分布・体温の変動)			
	2) 体熱の産生と放散、 3) 体温の調節と異常			
	4) 発汗 (汗腺・発汗の種類・汗の成分)			
第 15 回	9. 認定試験・まとめ			
関連科目	用語の理解と知識の定着にむけた事後学習を行うこと。また、3 次元的理解を助ける教材に触れること。 関連科目：解剖生理学Ⅱ・Ⅲ、基礎看護学技術Ⅲ			
テキスト	系統看護学講座 専門基礎 人体の構造と機能 1 解剖生理学 医学書院			
参考図書	藤田恒夫：入門人体解剖学 南山堂、木貴邑富久子、根来英雄：シンプル生理学 南山堂			
評価方法	筆記試験：100%			

独立行政法人国立病院機構金沢医療センター附属金沢看護学校授業計画 (Syllabus)

分野	授業科目名	単位数	時間数	開講時期			
専門基礎	解剖生理学Ⅱ	1	30	1年次 ・ 1学期			
担当講師	非常勤講師						
授業概要	人間を生命ある生物として見つめ、人体の発生・形態・機能と自分の生命を支える防御機能、調節機構を維持する力と身体と成熟による身体的変化を系統的、体系的に学ぶ。						
授業目標	1. 人体を構成する細胞、組織、器官の基本的構造を学びその機能の理解を助ける。 2. 人体の正常機能を物理的・科学的に理解し、病的状態の理解を助ける。						
回数	授業内容	担当者					
第1回	1. 呼吸器系						
第2回	1) 呼吸器総論 呼吸器系・呼吸 2) 呼吸器系の器官 鼻・咽頭・喉頭・気管及び気管支・肺・胸膜 3) 呼吸器の生理 呼吸運動・呼吸数と肺気量・ガス交換とガス運搬・呼吸の調節						
第3回 ～6回	2. 消化器系 1) 消化器系総論 消化と吸収・消化器系 2) 消化器系の器官 口腔・咽頭・食道・胃・小腸・大腸・ 肝臓と胆嚢・膵臓・腹膜						
第7回 ～9回	3. 腎・泌尿器系 1) 泌尿器系総論 (尿の生成と排泄・泌尿器系) 2) 泌尿器系の器官 (腎臓・尿管・膀胱・尿道) 3) 尿の生成と排泄 (尿の成分・尿の生成・クリアランス・腎機能の調節・排尿)						
第10回 ～11回	4. 生殖器系 1) 生殖器総論 2) 女性生殖器 (卵巣・卵管・子宮・膣・女性外陰部・乳腺・会陰) 3) 男性生殖器 (精巣・精巣上体・精管・精嚢・前立腺・尿道球腺・ 陰茎・陰嚢) 4) 生殖の生理 (男性の性機能・女性の性機能)						
第12回 ～14回	5. 内分泌系 1) 内分泌総論 2) 内分泌腺 (下垂体・甲状腺・上皮小体・膵臓・副腎・性腺・松果体・胸腺) 3) ホルモンの生理						
第15回	まとめ (45分)						
第16回	認定試験 (45分)						
自己学習 関連科目	用語の理解と知識の定着にむけた事後学習を行うこと。また、3次元的理解を助ける教材に触れること。 関連科目：解剖生理学Ⅰ・Ⅲ、基礎看護技術Ⅲ						
テキスト	系統看護学講座 専門基礎 人体の構造と機能1 解剖生理学 第11版 医学書院						
参考図書	藤田恒夫：入門人体解剖学 南山堂、木貴邑富久子、根来英雄：シンプル生理学 南山堂						
評価方法	筆記試験：100%						

独立行政法人国立病院機構金沢医療センター附属金沢看護学校授業計画 (Syllabus)

分野	授業科目名	単位数	時間数	開講時期
専門基礎	解剖生理学Ⅲ	1	30	1年次 ・ 1学期
担当講師	専任教員（病棟での看護経験あり）、非常勤講師（専任教員経験・病棟での看護経験あり）			
授業概要	解剖生理学Ⅰ・Ⅱで学んだ知識を土台とし、看護の対象である人間の身体の仕組みと働きを学び、人間の日常生活行動をつかさどる仕組みを学習し、看護の必要性を判断する思考につなげる。			
授業目標	日常生活で見られる行動・症状を解剖生理学の知識を使って説明できる。			
回数	授業内容	担当者		
第1回 ～7回	1. 生きているための生活行動 1) なんのための生活行動か (1) 内部環境の恒常性 2) 恒常性維持のための物質流通 (1) 流通の媒体－血液 (2) 流通路（血管、リンパ管、脾臓） (3) 流通の原動力（心臓、血圧、血圧の調節） 3) 恒常性維持のための調節機構 (1) 神経性調節（受容体、中枢神経、末梢神経） (2) 液性調節（ホルモン） 2. 生きてゆくための生活行動	第1回 ～7回		
第8回 ～14回	1) 動く 筋肉・神経・関節の役割 平衡感覚 2) 食べる 食欲・食べ物の選択・咀嚼、 味わう・飲み込む・消化・吸収・代謝 3) 息をする 息を吸う・吐く（ガス交換） 4) トイレに行く 便の生成、排便のメカニズム 尿の生成（体液の調節）、排尿のメカニズム 5) 眠る（休息） 生体リズムと恒常性 6) お風呂に入る 皮膚・粘膜の役割、温まることへの身体への影響	第8回 ～14回		
第15回	3. 認定試験・まとめ			
自己学習 関連科目	生活行動の不思議、疑問点を解剖生理学の知識を使って説明できるよう学習を深める。 関連科目：解剖生理学Ⅰ・Ⅱ、微生物学、生化学、基礎看護技術Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ			
テキスト	看護 形態機能学—生活行動からみるからだ 第4版 日本看護協会出版会 系統看護学講座 専門基礎 人体の構造と機能1 解剖生理学 第11版 医学書院 熊谷たまき他監修：フィジカルアセスメントがみえる MEDIC MEDIA			
参考図書	増田敦子監修：解剖生理をおもしろく学ぶ 医学芸術社 清水茜著：はたらく細胞 講談社			
評価方法	筆記試験および課題等（第1～7回：50%、第8～14：50%）			

独立行政法人国立病院機構金沢医療センター附属金沢看護学校授業計画 (Syllabus)

分野	授業科目名	単位数	時間数	開講時期
専門基礎	生化学	1	30	1年次 ・ 1学期
担当講師	非常勤講師			
授業概要	生体の多くは科学的成分により構成され、その成分は相互に調和し、必要に応じて生成され、代謝、排泄される。この恒常性という調節機能について理解する。			
授業目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人間の生命の流れを軸として細胞レベル・分子レベルの観点から理解する 2. 生体成分の化学構造、作用の仕方や役割、生命活動時の化学反応と調節機能などを理解する。 			
回数	授業内容			担当者
第1回	1. 生体の成り立ちと生体分子			
第2回	2. タンパク質の性質			
第3回	3. 酵素の性質と働き			
第4回	4. 生体内における糖質の代謝			
第5回	5. 生体内における脂質の代謝			
第6回	6. 生体内におけるアミノ酸およびタンパク質の代謝			
第7回	7. 生体内における核酸の役割			
第8回	8. 体液			
第9回	9. ホルモン			
第10回	10. ビタミン			
第11回	11. 内部環境の恒常性ーホメオスタシスー			
第12回	12. 消化・吸収と栄養価			
第13回	13. 血液			
	14. 尿			
第14回	15. 免疫			
	16. 各臓器の役割			
第15回	17. 認定試験			
自己学習	用語の理解と知識の定着にむけた事後学習を行うこと。			
関連科目	関連科目：解剖生理学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、症候治療論Ⅰ			
テキスト	わかりやすい生化学 第5版 ヌーベルヒロカワ			
評価方法	筆記試験 (100%)			

独立行政法人国立病院機構金沢医療センター附属金沢看護学校授業計画 (Syllabus)

分野	授 業 科 目 名	単位数	時間数	開講時期
専門基礎	病理学概論	1	30	1年次 ・ 2学期
担当講師	非常勤講師			
授業概要	疾病の発生原因や発生病理、疾病をもたらす形態と機能および代謝変化の原理を理解する。			
授業目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 病理学の概要を理解する。 2. 先天異常・代謝障害・循環障害・炎症および腫瘍の概念を理解する。 3. 上記の病気が系統別のそれぞれの臓器や組織にどのように生じてくるのか理解する。 			
回数	授 業 内 容			担当者
第1回	1. 病理学とは			
第2回	2. 先天異常と遺伝子異常、胎児障害			
第3回	3. 代謝障害			
第4回	<ol style="list-style-type: none"> 1) 細胞の損傷とその修復、再生 2) 代謝異常 			
第5回	4. 循環障害			
第6回	<ol style="list-style-type: none"> 1) 局所での障害 2) 全身性の障害 			
第7回	5. 炎症			
第8回	<ol style="list-style-type: none"> 1) 炎症の経過、炎症、免疫に関わる細胞 			
第9回	6. アレルギーと免疫、膠原病			
第10回	<ol style="list-style-type: none"> 1) アレルギーの種類 2) 自己免疫疾患 			
第11回	7. 感染症			
第12回	<ol style="list-style-type: none"> 1) 病原体の種類 2) 宿主の防御機構 			
第13回	8. 腫瘍			
第14回	<ol style="list-style-type: none"> 1) 腫瘍の分類 2) 腫瘍の診断と治療 			
第15回	9. 老化と死			
第16回	10. 病理検査、解剖			
第17回	11. 認定試験			
自己学習 関連科目	用語の理解にむけて、ノート整理などを通じた事後学習を行うこと。 関連科目：症候治療論Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、症候各論Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ			
テキスト	系統看護学講座 専門基礎 疾病の成り立ちと回復の促進 1 病理学 医学書院			
評価方法	筆記試験：100%			

独立行政法人国立病院機構金沢医療センター附属金沢看護学校授業計画 (Syllabus)

分野	授業科目名	単位数	時間数	開講時期
専門基礎	症候治療論 I	1	15	1 年次 ・ 1 学期
担当講師	非常勤講師 (臨床検査技師・医師)			
授業概要	疾病によって起こりうる機能障害から、疾患によって異なる診断学の基本及び検査、疾病の回復を促進する放射線治療、化学療法を理解する。			
授業目標	1. 診断・検査の進め方、基本が理解できる。 2. 治療としての放射線、化学療法の概要が理解できる。			
回数	授業内容	担当者		
第 1 回	1. 臨床検査の基礎 1) 臨床検査とその役割 2) 臨床検査の種類・目的 3) 臨床検査結果の評価	第 1 回 ～4 回		
第 2 回	2. 臨床検査の流れ 1) 臨床検査の流れと準備 2) 検査を受ける患者への説明 3) 検体採取・保存・移送法 4) 検査に伴う危険とその防止			
第 3 回 ～4 回	3. 主な臨床検査 1) 一般検査 2) 血液学的検査、化学検査、免疫・血清学的検査、微生物学的検査 3) 生体検査			
第 5 回 ～6 回	4. 放射線療法 1) 放射線療法の目的 2) 放射線療法の種類と特徴 3) 放射線療法の適応、進め方 4) 放射線障害と放射線防護			
第 7 回	5) 画像診断：画像診断と看護・X 線診断・CT・MRI・超音波検査 核医学検査・IVR・血管造影	第 7 回		
第 8 回	5. 認定試験			
自己学習 関連科目	臨床検査や画像、治療など身近な理解から、専門的な理解につなげるための学習を行うこと。 関連科目：解剖生理学 I・II、生化学、微生物学			
テキスト	系統看護学講座別巻 臨床検査 医学書院 (野村講師) 系統看護学講座別巻 臨床放射線医学 医学書院 (川井講師・牧野講師)			
評価方法	筆記試験：100% (第 1～4 回：55%、第 5～6 回：30%、第 7 回：15%)			

独立行政法人国立病院機構金沢医療センター附属金沢看護学校授業計画 (Syllabus)

分野	授業科目名	単位数	時間数	開講時期
専門基礎	症候治療論Ⅱ	1	15	1年次 ・ 2学期
担当講師	非常勤講師 (栄養士)			
授業概要	人間にとっての栄養の意義を理解し、健康維持のために必要な栄養と疾病との関係、各種病態と食事療法、治療食について学習する。			
授業目標	1. 栄養学の基本的な知識・食事療法の目的が理解できる。 2. 治療としての食事療法の概要が理解できる。			
回数	授業内容			担当者
第1回	臨床栄養 1) 栄養学の基本 (1) 栄養とは何か (2) 3大栄養素とその機能 (3) ビタミンと無機質 (ミネラル) (4) 食事摂取量の簡単な基準 (5) 食事摂取基準			
第2回	2) 栄養と疾病の関係			
第3回	3) 食事と食事療法の目的			
第4回	4) 患者と栄養			
第5回	5) 過栄養			
第6回	6) 各種病態と食事療法の基本方針 (1) 消化器疾患 (2) 循環器疾患 (3) 腎疾患 (4) 代謝疾患 (5) 手術前後			
第7回	7) 病院食 (1) 特殊栄養法 (2) 経腸栄養法 (3) 経静脈栄養法			
第8回	認定試験			
自己学習 関連科目	用語の理解と知識の定着にむけた事後学習を行うこと。 関連科目：症候治療論Ⅲ、症候各論Ⅱ・Ⅲ			
テキスト	尾岸恵三子、正木治恵：看護栄養学 医歯薬出版株式会社			
評価方法	筆記試験：100%			

独立行政法人国立病院機構金沢医療センター附属金沢看護学校授業計画 (Syllabus)

分野	授業科目名	単位数	時間数	開講時期
専門基礎	症候治療論Ⅲ	1	15	1年次 ・ 2学期
担当講師	非常勤講師 (医師)			
授業概要	疾病の回復を促進する手術療法の概要を理解し、麻酔による治療の理解と麻酔による身体への影響を学習する。			
授業目標	1. 治療としての手術療法の概要が理解できる。 2. 麻酔の特色とその原理、種類、麻酔時の注意事項や観察事項が理解できる。			
回数	授業内容			担当者
第1回	1. 手術療法 1) 基本的外科手術手技 2) 外科診断・治療 3) 術前管理 4) 術後管理 5) 外科的栄養学 6) 術後合併症 7) 炎症 8) 腫瘍 9) 主要症状・治療 食道・腹部・腹膜の炎症・甲状腺・乳腺疾患の外科 2. 麻酔が人間の身体に与える影響 1) 麻酔の種類と目的 前与薬・全身麻酔・特殊な全身麻酔・脊椎麻酔・硬膜外麻酔 伝達麻酔・局所麻酔・ペインクリニック 2) 麻酔投与時の観察のポイントとその根拠 全身麻酔の合併症と原因・脊椎麻酔の合併症と原因 硬膜外麻酔の合併症と原因 局所麻酔、伝達麻酔の合併症と原因 3) 麻酔中、麻酔後の合併症 全身麻酔中の偶発症と処置・全身麻酔後の合併症			第1～3回 8回 八木講師
第2回				第4～7回 小川講師
第3回				
第4回				
第5回				
第6回				
第7回				
第8回				
自己学習 関連科目	解剖生理学および関連科目の知識を確認しながら、学習内容の事後学習を行うこと。 関連科目：病理学概論、症候治療論Ⅱ、症候各論Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ、薬理学 健康障害援助論			
テキスト	系統看護学講座別巻 臨床外科看護総論 医学書院 系統看護学講座別巻 臨床外科看護各論 医学書院			
評価方法	筆記試験：100% (第1～3回：50%、第4～7回：50%)			

独立行政法人国立病院機構金沢医療センター附属金沢看護学校授業計画 (Syllabus)

分野	授業科目名	単位数	時間数	開講時期
専門基礎	症候治療論Ⅳ	1	15	1年次 ・ 2学期
担当講師	非常勤講師 (理学療法士)			
授業概要	リハビリテーションの概念と基礎を学び、リハビリテーション療法の種類と技術を講義と演習を通して学習する			
授業目標	治療としてのリハビリテーション療法の概要が理解できる。			
回数	授業内容			担当者
第1～7回	リハビリテーション 1. リハビリテーション療法の目的 (廃用症候群の予防) 2. リハビリテーションを受ける対象 3. リハビリテーション療法の種類と特徴 1) 運動療法 2) 物理療法 3) 作業療法 4) 言語療法 5) その他のリハビリテーション療法 (呼吸器・循環器) 4. 運動療法 1) 運動療法の目的 2) 運動療法の対象となる疾患 3) 運動療法の種類とその特徴 (関節可動域訓練) 4) 運動療法の効果 5) 各疾患における運動療法			
第8回	認定試験			
自己学習 関連科目	自己および他者の身体に触れ、動かしながら、用語の理解を行う。 関連科目：病理学概論、症候治療論Ⅰ・Ⅲ、症候各論Ⅴ、健康障害援助論			
テキスト	系統看護学講座別巻 リハビリテーション看護 医学書院			
評価方法	筆記試験：100%			
備考	リハビリテーション技術については、体験を通して学習をする。			

独立行政法人国立病院機構金沢医療センター附属金沢看護学校授業計画 (Syllabus)

分野	授業科目名	単位数	時間数	開講時期
専門基礎	症候各論 I	1	30	2年次 ・ 1学期
担当講師	非常勤講師 (医師・歯科医師)			
授業概要	健康障害によって人体で引き起こされている症状の発生機序と、障害に対し行われている診療と検査及び治療について学ぶ。講義を通して内分泌疾患、泌尿器疾患、耳鼻咽喉科疾患、歯・口腔疾患、眼疾患、皮膚疾患の主な症状、症状のメカニズム、経過、検査、診断、治療を理解する。			
授業目標	1. 疾患及び障害のメカニズムについて理解する。 2. 疾患・障害による症状や病状の経過及び観察の視点について理解する。 3. 疾患・障害に対する診断や検査、治療法について理解する。			
回数	授業内容	担当者		
第1回 ～3回	1. 内分泌疾患の特徴 (疾患の病態生理、診断、身体所見、経過、治療、検査) 1) 検査：ホルモン血中濃度及び尿中量測定、免疫学的評価、ホルモン負荷試験 2) 視床下部：下垂体前葉系疾患 (機能亢進及び機能低下、クッシング病) 3) 視床下部：下垂体後葉系疾患 (尿崩症、ADH不適切分泌症候群) 4) 甲状腺疾患 (バセドウ病、橋本病、甲状腺機能低下症、甲状腺腫瘍、非甲状腺疾患) 5) 副甲状腺疾患 (機能亢進及び機能低下) 6) 副腎疾患 (クッシング症候群、原発性アルドステロン症、アジソン病、褐色細胞腫) 7) 消化管ホルモン産生腫瘍 (インスリノーマ、ガストリノーマ、グルカノーマ) 8) 多発性内分泌の救急治療 (甲状腺クリーゼ、高Ca血症クリーゼ、粘液水腫昏睡)	第1回 ～3回		
第4回 ～5回	2. 栄養・代謝障害の特徴 (疾患の病態生理、診断、身体所見、経過、治療、検査) 1) 糖尿病 (分類、診断、治療の評価のための検査、治療、合併症) 2) 脂質異常症 (高脂血症、尿酸代謝異常) 3) 肥満症 (メタボリックシンドローム) 4) 尿酸代謝異常 (痛風)	第4回 ～5回		
第6回 ～7回	3. 泌尿器疾患 (疾患の病態生理、診断、身体所見、経過、治療、検査) 1) 症状：尿毒症、疼痛、腫脹、腫瘤 尿失禁 残尿 頻尿 尿閉 血尿 2) 検査及び治療：尿検査、血液検査、画像診断(IVP、RP) 生検、尿培養 膀胱鏡 前立腺切除、膀胱切除 薬物療法(抗がん剤、内分泌) 尿流動態検査 3) 尿路・性器の感染症 (腎盂腎炎、腎周囲炎、膀胱炎、尿道炎、前立腺炎、精巣上体炎) 4) 尿路の通過・機能障害(水腎症、神経因性膀胱、前立腺肥大、尿管損傷、腎結石、尿管結石、膀胱結石) 5) 腫瘍 (腎細胞癌、ウイラムス腫瘍、腎盂癌、尿管癌、膀胱癌、尿道癌、前立腺癌など)	第6回 ～7回		
第8回 ～9回	4. 耳鼻咽喉科疾患 (疾患の病態生理、診断、身体所見、経過、治療、検査) 1) 症状：耳痛、聴覚障害、平衡感覚障害、鼻閉、鼻出血、嚥下障害、咽頭痛、眩暈 味覚・嗅覚障害 2) 検査及び治療：聴力検査、平衡機能検査、耳管通気検査、内視鏡検査、洗浄、 ネブライザー法など 3) 外耳疾患、中耳疾患、内耳・後迷路性疾患：外耳炎、鼓膜損傷、中耳炎、難聴 メニエール病など	第8回 ～9回		

独立行政法人国立病院機構金沢医療センター附属金沢看護学校授業計画 (Syllabus)

<p>第 10 回 ～11 回</p>	<p>4)外鼻疾患、鼻腔疾患、副鼻腔疾患：鼻炎、副鼻腔炎、上顎癌など 5)咽頭疾患、唾液腺疾患、喉頭疾患：咽頭炎、扁桃炎、扁桃肥大症、咽頭癌など 5. 歯・口腔疾患 (疾患の病態生理、診断、身体所見、経過、治療、検査) 1)症状：疼痛、腫脹、口腔出血、歯の欠損、口臭、口腔内乾燥症、顎口腔機能障害 2)検査及び治療：口腔内検査、画像診断、口腔外科的検査、齲歯の治療、歯周疾患の治療 3)歯の異常と疾患：齲歯など 歯周組織の疾患：歯周炎など 齲歯に続発する疾患 4)口腔粘膜の疾患：アフタ、ウイルス感染症など、嚢胞、腫瘍、顎骨の損傷など</p>	<p>第 10 回 ～11 回</p>
<p>第 12 回 ～13 回</p>	<p>6. 眼疾患 (疾患の病態生理、診断、身体所見、経過、治療、検査) 1)症状：視力障害、視野異常、視覚異常、病盲、複視、飛蚊症、充血、流涙、眼脂、 差明、眼痛、眼球突出など 2)検査及び治療：視力検査、屈折検査、眼底検査、眼圧検査、瞳孔検査、涙液分泌検査 視野検査など 点眼法、洗顔法、眼帯、涙嚢洗浄、屈折矯正、義眼、手術など 3)機能の障害：屈折異常、老眼、色覚異常、弱視、眼位眼球運動の異常など 4)部位別の疾患：麦粒腫、霰粒腫、眼瞼下垂、結膜炎、トラコーマ、翼状片、角膜炎、 ベーチェット病、サルコイドーシス、網膜症、網膜剥離、白内障、緑内障、眼窩腫瘍など</p>	<p>第 12 回 ～13 回</p>
<p>第 14 回 ～15 回</p>	<p>7. 皮膚疾患 (疾患の病態生理、診断、身体所見、経過、治療、検査) 1) 症状：発疹、掻痒、皮膚の老化 2) 検査及び治療：貼付試験、単刺試験、掻破試験 全身療法、外用療法、光線療法、レーザー治療など 3) 熱傷、アトピー性皮膚炎、乾癬、白癬、帯状疱疹、悪性黒色腫、蜂巣織炎、疥癬など 認定試験</p>	<p>第 14 回 ～15 回</p>
<p>自己学習・ 関連科目</p>	<p>解剖生理学と病理学概論を復習して授業に臨んでください。 関連科目：成人援助論Ⅱ・Ⅲ</p>	
<p>テキスト</p>	<p>病気が見える 代謝・内分泌 vol3 (メディックメディア)・・・1. 及び2. 系統看護学講座 専門分野 成人看護学6 内分泌・代謝 医学書院・・・1. 及び2. 系統看護学講座 専門分野 成人看護学8 腎・泌尿器 医学書院・・・3. 系統看護学講座 専門分野 成人看護学14 耳鼻咽喉 医学書院・・・4. 系統看護学講座 専門分野 成人看護学15 歯・口腔 医学書院・・・5. 系統看護学講座 専門分野 成人看護学13 眼 医学書院・・・6. 系統看護学講座 専門分野 成人看護学12 皮膚 医学書院・・・7.</p>	
<p>評価方法</p>	<p>筆記試験：100% (第1～3回、第6～7回、第8～9回、第10～11回、第12～13回、第14～15回：各15% 第4～5回：10%)</p>	

独立行政法人国立病院機構金沢医療センター附属金沢看護学校授業計画 (Syllabus)

分野	授業科目名	単位数	時間数	開講時期
専門基礎	症候各論Ⅱ	1	30	1年次 ・ 2学期
担当講師	非常勤講師 (医師)			
授業概要	健康障害によって人体で引き起こされている症状の発生機序と、障害に対し行われている診療と検査及び治療について学ぶ。講義を通して循環器疾患、腎系疾患、膠原病、血液系疾患の主な症状、症状のメカニズム、経過、検査、診断、治療を理解する。			
授業目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 疾患及び障害のメカニズムについて理解する。 2. 疾患及び障害による症状や病状の経過および観察の視点について理解する。 3. 疾患・障害に対する診断や検査、治療方法について理解する。 			
回数	授業内容	担当者		
第1回 ～7回	<ol style="list-style-type: none"> 1. 循環器疾患 <ol style="list-style-type: none"> 1) 循環器のしくみと働き 2) 循環器疾患の主な症状・病態生理 高血圧、低血圧、胸痛、動悸、失神発作、ショック、浮腫、脱水、呼吸困難 3) 循環器疾患の病態 心不全、不整脈 4) 循環器の主な検査・治療 心電図、血管造影、心臓カテーテル検査、ペースメーカー 5) 主な循環器疾患とその診療 心筋梗塞 (バイパス術を含む)、狭心症、大動脈瘤・解離 (手術を含む)、心臓弁膜症、心筋症、肺血栓梗塞症、閉塞性大動脈硬化症、高血圧症 	第1回 ～7回		
第8回 ～12回	<ol style="list-style-type: none"> 2. 腎系疾患 <ol style="list-style-type: none"> 1) 腎臓のしくみと働き 2) 腎疾患の主な症状・病態生理 蛋白尿、血尿、尿糖、多尿、無尿、乏尿、排尿障害、浮腫、高血圧 3) 腎疾患の病態 腎不全、水腎症、尿毒症 4) 腎疾患の主な検査・治療 腎生検、透析療法 5) 主な腎疾患とその診療 急性糸球体腎炎、腎結石、慢性腎炎、腎盂腎炎、糖尿病性腎症 3. 膠原病と類縁疾患 <ol style="list-style-type: none"> 1) 膠原病の原因とそのしくみ 2) 膠原病の主な症状・病態生理 3) 膠原病の診断とその治療 全身性エリテマトーデス、ベーチェット病、多発性筋炎、皮膚筋炎、強皮症、シェーグレン症候群 	第8回 ～12回		
第13回 ～15回	<ol style="list-style-type: none"> 4. 血液系疾患 <ol style="list-style-type: none"> 1) 血液のしくみと働き 	第13回 ～15回		

独立行政法人国立病院機構金沢医療センター附属金沢看護学校授業計画 (Syllabus)

	<p>2) 血液疾患の主な症状・病態生理 貧血、出血傾向、易感染、リンパ節腫大、脾腫</p> <p>3) 血液疾患の病態 敗血症、DIC</p> <p>4) 血液疾患の主な検査・治療 骨髄穿刺・生検、造血幹細胞移植、輸血</p> <p>5) 主な血液疾患とその診療 再生不良性貧血、白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫</p> <p>認定試験</p>	
自己学習 関連科目	<p>解剖生理学、症候治療論Ⅰを復習して授業に臨む。</p> <p>関連科目：薬理学、症候治療論Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、健康障害援助論</p>	
テキスト	<p>系統看護学講座 専門分野 成人看護学3 循環器 医学書院</p> <p>系統看護学講座 専門分野 成人看護学8 腎・泌尿器 医学書院</p> <p>系統看護学講座 専門分野 成人看護学11 アレルギー 膠原病 感染症 医学書院</p> <p>系統看護学講座 専門分野 成人看護学4 血液・造血器 医学書院</p>	
評価方法	<p>筆記試験：100%（第1～7回：45%、第8～12回：35%、第13～15回：20%）</p>	

独立行政法人国立病院機構金沢医療センター附属金沢看護学校授業計画 (Syllabus)

分野	授業科目名	単位数	時間数	開講時期
専門基礎	症候各論Ⅲ	1	30	1年次 ・ 2学期
担当講師	非常勤講師 (医師)			
授業概要	健康障害によって人体で引き起こされている症状の発生機序と、障害に対し行われている診療と検査及び治療について学ぶ。講義を通して消化器・女性生殖器疾患の主な症状、症状のメカニズム、経過、検査、診断、治療を理解する。			
授業目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 疾患及び障害のメカニズムについて理解する。 2. 疾患及び障害による症状や病状の経過および観察の視点について理解する。 3. 疾患・障害に対する診断や検査、治療方法について理解する。 			
回数	授業内容			担当者
第1回 ～4回	<ol style="list-style-type: none"> 1. 消化器疾患 <ol style="list-style-type: none"> 1) 消化管の疾患と診療 <ol style="list-style-type: none"> (1) 消化管のしくみと働き(食道、胃・十二指腸、小腸、大腸、直腸・肛門) (2) 主な症状・徴候とその病態生理 悪心・嘔吐、下痢、便秘、吐血・下血、腹痛、腹部膨満、食欲不振と体重減少 (3) 消化器疾患(消化管)の主な検査・治療 内視鏡検査、放射線検査(透視・造影)、超音波検査、薬物療法 栄養療法 放射線療法 腹水穿刺、イレウス管 (4) 主な消化器疾患とその診療 (保存的治療) 胃がん、食道がん、大腸がん、腹膜炎、食道炎、胃十二指腸潰瘍、潰瘍性大腸炎、クローン病、イレウス ヘルニア 2) 肝臓・胆嚢・胆管・膵臓の疾患と診療 <ol style="list-style-type: none"> (1) 肝臓・膵臓・胆嚢のしくみと働き (2) 主な症状・徴候とその病態生理 黄疸、浮腫、腹水、意識障害 (肝性脳症) 肝不全、門脈圧亢進 (3) 主な検査・治療 血液検査、超音波検査、肝生検、放射線検査(ERCP,DIC,PTC,MRCP)、CT、肝シンチグラフィ、MRI、陽電子放射断層撮影(PET) (4) 主な疾患とその診療 (保存的治療) 肝炎・肝障害、肝硬変、肝がん、胆石症、胆嚢炎及び胆管炎、膵炎、膵臓がん 3) 消化器疾患の外科的診療 胃がん、食道がん、膵がん、胆石症、肝がん、大腸がん、イレウス、腸ヘルニア、急性虫垂炎 腹部外傷 			第1回 ～4回
第5回 ～7回				第5回 ～7回
第8回 ～11回				第8回 ～11回
第12回 ～15回	<ol style="list-style-type: none"> 2. 女性生殖器疾患 <ol style="list-style-type: none"> 1) 女性生殖器のしくみと働き 2) 女性生殖器疾患の主な症状・病態生理 帯下、月経異常、性器出血、更年期障害 3) 女性生殖器疾患の主な検査・治療 			第12回 ～15回

独立行政法人国立病院機構金沢医療センター附属金沢看護学校授業計画 (Syllabus)

	<p>ダグラス窩穿刺、内診、ホルモン療法、手術 (子宮広汎全摘)</p> <p>4) 女性生殖器の主な疾患と診療</p> <p>子宮がん (頸がん、体がん) 子宮筋腫、卵巣腫瘍 (のう腫、がん)</p> <p>膣炎、性感染症、乳がん、不妊症、子宮内膜症</p> <p>認定試験</p>	
自己学習 関連科目	<p>解剖生理学、症候治療論Ⅰを復習して授業に臨む。</p> <p>関連科目：薬理学、症候治療論Ⅱ・Ⅲ、健康障害援助論</p>	
テキスト	<p>系統看護学講座 専門分野 成人看護学5 消化器 医学書院</p> <p>系統看護学講座 専門分野 成人看護学9 女性生殖器 医学書院</p>	
評価方法	<p>筆記試験：100% (第1～4回：25%、第5～7回：20%、第8～11回：30%、第12～15：25%)</p>	

独立行政法人国立病院機構金沢医療センター附属金沢看護学校授業計画 (Syllabus)

分野	授業科目名	単位数	時間数	開講時期
専門基礎	症候各論IV	1	30	1年次 ・ 2学期
担当講師	非常勤講師 (医師)			
授業概要	呼吸器疾患、感染症、神経、神経・筋疾患の主な症状、症状のメカニズム、経過、検査、診断、治療を理解する。			
授業目標	1. 疾患及び障害のメカニズムについて理解する。 2. 疾患・障害による症状や病状の経過及び観察の視点について理解する。 3. 疾患・障害に対する診断や検査、治療法について理解する。			
回数	授業内容	担当者		
第1～4回	1. 呼吸系疾患 1) 呼吸器系のしくみと働き 2) 呼吸器疾患の主な症状・病態生理 咳漱、喀痰、血痰、喘痰、胸痛、呼吸困難、チアノーゼ 3) 呼吸器疾患の病態 呼吸不全、COPD、CO ₂ ナルコーシス、過換気症候群 4) 呼吸器疾患の主な検査・治療 肺機能検査、人工呼吸器、気管支鏡、胸水穿刺、血液ガス、酸素療法、吸入療法	第1回 ～4回		
第5～7回	5) 呼吸器の主な疾患と診療 (1) 保存的治療の適応となる主な疾患 肺癌、肺炎、気管支炎、肺気腫、間質性肺炎、塵肺、肺結核 気管支喘息、気胸 (2) 外科的治療の適応となる主な疾患 (太田講師) 肺癌 (手術療法)	第5回 ～7回		
第8回 ～13回	2. 感染症 主な感染症疾患の診療 インフルエンザ、SARS、HIV 3. アレルギー・免疫疾患 (北講師) 1) 免疫系のしくみと働き 2) アレルギー・免疫疾患の主な特徴 3) 診断と診療 4. 神経・筋疾患 1) 神経系のしくみと働き 2) 神経・筋疾患の主な症状 意識障害、高次機能障害、痙攣、不随意運動、運動麻痺、筋萎縮、運動失調、歩行障害、頭痛 3) 脳神経疾患の主な検査・治療 脳波、脳血管撮影、腰椎穿刺、脳室ドレナージ 4) 主な脳神経の疾患とその診療 (1) 外科的治療の適応となる疾患とその治療 脳動脈瘤、脳出血、脳腫瘍、下垂体腫瘍、神経芽細胞腫	第8回 ～13回		

独立行政法人国立病院機構金沢医療センター附属金沢看護学校授業計画 (Syllabus)

<p>第 14 回 ～15 回</p>	<p>脳外傷、硬膜下血腫 (2) 保存的治療の適応となる疾患とその治療法 脳出血、脳梗塞、重症筋無力症、多発性硬化症、 パーキンソン病、パーキンソン症候群、筋萎縮性側索硬化症、 脊髄小脳変性症、髄膜炎</p> <p>認定試験</p>	<p>第 14 回 ～15 回</p>
<p>自己学習 関連科目</p>	<p>解剖生理学、症候治療論 I を復習して授業に臨む。 関連科目：薬理学、症候治療論 II・III・IV、健康障害援助論</p>	
<p>テキスト</p>	<p>系統看護学講座 専門分野 成人看護学 2 呼吸器 医学書院 系統看護学講座 専門分野 成人看護学 11 アレルギー 膠原病・感染症 医学書院 系統看護学講座 専門分野 成人看護学 7 脳・神経 医学書院</p>	
<p>評価方法</p>	<p>筆記試験：100%（第 1～4 回：25%、第 5～7 回：20%、第 8～13 回：40%、第 14～15 回：15%）</p>	

独立行政法人国立病院機構金沢医療センター附属金沢看護学校授業計画 (Syllabus)

分野	授業科目名	単位数	時間数	開講時期
専門基礎	症候各論V	1	15	1年次 ・ 2学期
担当講師	非常勤講師 (医師)			
授業概要	健康障害によって人体で引き起こされている症状の発生機序と、障害に対し行われている診療と検査及び治療について学ぶ。講義を通して骨・関節・筋疾患の病態生理、症状、検査、治療等を理解する。			
授業目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 疾患及び障害のメカニズムについて理解する。 2. 疾患及び障害による症状や病状の経過および観察の視点について理解する。 3. 疾患・障害に対する診断や検査、治療方法について理解する。 			
回数	授業内容	担当者		
第1回	1. 骨・関節・筋疾患			
第2回	1) 骨・関節・筋のしくみと働き			
第3回	2) 骨・関節・筋疾患の主な症状・病態生理 疼痛、形態の異常、関節運動の異常、神経の障害、異常歩行・跛行			
第4回	3) 運動器疾患の理解 脱臼、捻挫、骨折、拘縮、筋萎縮			
第5回	4) 運動器疾患の主な検査・治療			
第6回	牽引、ギブス固定、補助具、切断術、人工骨頭置換			
第7回	5) 運動器の主な疾患と診療 大腿骨頸部骨折、脊柱側湾症、椎間板ヘルニア、脊柱管狭窄症 脊椎分離症・すべり症、脊髄損傷、変形性膝関節症、 関節リウマチ、骨粗鬆症、骨軟化症・くる病			
第8回	認定試験			
自己学習 関連科目	解剖生理学、疾病治療論Ⅰを復習し授業に臨む。 関連科目：病理学、薬理学、疾病治療論Ⅲ・Ⅳ、健康障害援助論			
テキスト	系統看護学講座 専門分野 成人護学 10 運動器 医学書院			
評価方法	筆記試験：100%			

独立行政法人国立病院機構金沢医療センター附属金沢看護学校授業計画 (Syllabus)

分野	授業科目名	単位数	時間数	開講時期
専門基礎	微生物学	1	30	1年次 ・ 1学期
担当講師	非常勤講師			
授業概要	微生物の基礎を学び、人体に及ぼす影響と感染症について理解する。 微生物の分類、感染と発病、滅菌と消毒、感染と免疫、微生物と感染症等を、講義を通して学習する。			
授業目標	微生物の特徴と生体に及ぼす影響を理解し、その対応について理解する。			
回数	授業内容			担当者
第1回	1. 微生物のアウトライン			
第2回	2. 細菌の性質			
第3回	3. ウイルスの性質・真菌の性質			
第4回	4. 感染と感染症			
第5回	5. 感染と生体防御機構			
第6回	6. 滅菌と消毒			
第7回	7. 感染症の検査・診断・治療			
第8回	8. 感染症の現状と対策 感染症法、ワクチン			
第9回	1. 病原細菌各論			
第10回	1) グラム陽性菌			
第11回	2) グラム陰性菌			
第12回	3) リケッチア			
第13回	4) クラミジア			
第14回	2. 病原ウイルス各論			
第15回	1) DNA ウイルス			
第16回	2) RNA ウイルス			
第17回	3) ウイルスの臨床的分類			
第18回	3. 病原真菌各論			
第19回	認定試験・まとめ			
自己学習 関連科目	日常的に行う感染予防の意味から関心を高め、微生物への理解を深める。 関連科目：症候治療論Ⅰ、基礎看護技術Ⅰ			
テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進4 微生物学 医学書院			
参考図書	標準微生物学 山西弘一・平松啓一 編 医学書院			
評価方法	筆記試験：100%			

独立行政法人国立病院機構金沢医療センター附属金沢看護学校授業計画 (Syllabus)

分野	授業科目名	単位数	時間数	開講時期
専門基礎	薬理学	1	30	1年次 ・ 2学期
担当講師	非常勤講師 (薬剤師)			
授業概要	薬理作用に基礎知識に基づき、薬物の概念と薬物の作用・副作用を学び正しい与薬方法、薬物の管理を理解する			
授業目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 薬物の特徴、作用機序、人体への影響および薬剤の管理について理解する。 2. 薬物の使用目的、薬物の効果や作用機序、副作用、薬物の取り扱いについて理解する。 			
回数	授業内容	担当者		
第1回 ～5回	<ol style="list-style-type: none"> 1. 薬物治療の目ざすもの 2. 薬はどのように作用するのか 3. 薬はどのように体内をめぐるのか 4. 薬効に影響する因子 5. 薬物の有害作用はなぜおこるのか 薬の管理と新薬の誕生 	第1回 ～5回		
第6回 ～15回	<ol style="list-style-type: none"> 6. 抗感染症薬 7. 化学療法 <ol style="list-style-type: none"> 1) がん化学療法の基礎知識 2) がん化学療法の目的とその適応 3) 抗悪性腫瘍薬の種類とその特徴 4) 薬物動態・薬物相互作用 5) がん化学療法の副作用 6) 抗悪性腫瘍薬の投与管理 7) 抗悪性腫瘍薬による被爆防止 8. 免疫治療薬 9. 抗アレルギー薬 10. 末梢での神経活動に作用する薬物 11. 中枢神経系に作用する薬物 12. 心臓・血管系に作用する薬物 13. 呼吸器・消化器・生殖器系に作用する薬物 14. 物質代謝に作用する薬物 15. 皮膚科用薬・眼科用薬・漢方薬・消毒薬 16. 薬機法・輸液剤・輸血剤・まとめ 17. 認定試験 	第6回 ～15回		
自己学習 関連科目	名称を聞きなれながら、メカニズムをつなげた事後学習を行う。 関連科目：病理学概論、症候治療論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、症候各論Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ、健康障害援助論			
テキスト	系統看護学講座 専門基礎 疾病の成り立ちと回復の促進 3 薬理学 医学書院 系統看護学講座 専門基礎 健康支援と社会保障制度 4 看護関係法令 医学書院			
評価方法	筆記試験：100% (第1～5回：30%、第6～14回：70%)			

独立行政法人国立病院機構金沢医療センター附属金沢看護学校授業計画 (Syllabus)

分野	授業科目名	単位数	時間数	開講時期
専門基礎	保健医療福祉論	2	30	2年次 ・ 1学期
担当講師	非常勤講師			
授業概要	総論である社会福祉・社会保障の目的や機能及び歴史に触れる。また方法論としての社会福祉の実践方法、社会資源の活用方法を学ぶ。最後に各論である子供、障がい者、高齢者などライフサイクルに応じた諸制度について学ぶ。			
授業目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療・保健・福祉制度の法的基盤や機能を理解する。 2. 医療・保健・福祉政策の背景や流れを理解する。 3. 1・2をふまえて看護専門職としての実践や社会資源の活用方法の基礎知識を習得する。 			
回数	授業内容	担当者		
第1回	1. 現代社会と社会福祉・社会保障			
第2回	2. 暮らしと社会福祉・社会保障 1) 社会福祉・社会保障とは何か			
第3回	2) 社会福祉・社会保障の歴史			
第4回	3. 福祉の実践、資源の活用			
第5回	4. 社会保障（社会保険）制度 1) 公的年金制度の意義と体系			
第6回	2) 医療保険制度			
第7回	3) 介護保険制度			
第8回	4) 雇用保険制度・労災保険制度			
第9回	5. ライフサイクルと社会福祉 1) 高齢者と社会福祉			
第10回	2) 子ども・家族と社会福祉			
第11回	3) 障害児・者と社会福祉			
第12回	6. 生活保護制度			
第13回	7. 地域福祉			
第14回	8. その他の社会福祉に関する法や施策			
第15回	認定試験			
自己学習 関連科目	自分や家族等身近な人々や対象がどのような制度に守られているか関心を高めながら、用語の理解を深める。 関連科目：老年援助論Ⅰ、老年看護学実習Ⅰ、小児看護対象論、在宅看護対象論			
テキスト	ナーシンググラフィカ9「健康支援と社会保障－社会福祉と社会保障」メディカ出版			
評価方法	筆記試験：100%			

独立行政法人国立病院機構金沢医療センター附属金沢看護学校授業計画 (Syllabus)

分野	授業科目名	単位数	時間数	開講時期
専門基礎	健康論 I	1	30	1 年次 ・ 1 学期
担当講師	専任教員 (病棟看護師経験および病院での管理者経験あり)			
授業概要	健康の概念を指標や歴史的動向から知る。また私たちの日常生活と健康との関連を理解し、健康と看護との関連を考える。その上で自らの健康に対する考え方やヘルスリテラシーの向上にむけ、実際のデータや事例を用いながら健康とは何かを考えられるように授業展開をしていく。			
授業目標	1. 健康の概念を理解し、その上で健康と看護との関係性を考える。 2. 健康の指標について知る。 3. 日常生活行動が健康に及ぼす影響を理解する。 4. 自らの健康観をもつ。			
回数	授業内容	担当者		
第 1 回	1. 健康の概念 1) 健康の理解 2) 病気ととらえた場合の健康レベルの理解			
第 2 回	2. 健康政策 1) 疾病構造とライフスタイルの変化 2) ヘルスプロモーションの概念とその活動 3) わが国における国民の健康づくり対策 健康日本 21 の展開			
第 3 回	3. ヘルスプロモーションの場 1) 学校 2) 職場 3) 病院 4) 家庭 5) 地域			
第 4 回	4. ストレスとヘルスリテラシー			
第 5 回	5. 日常生活と健康			
第 6 回	1) 運動と健康 2) 睡眠と健康 3) 食生活と健康 4) 排泄と健康 5) 口腔の健康 6) 喫煙と健康			
第 7 回	6. 性の健康			
第 8 回	7. 精神の健康			
第 9 回	8. 地域の健康			
第 10 回	1) 地域における健康づくり (公衆衛生)			
第 11 回	9. 保健統計から見る、日本・世界の健康格差			
第 12 回	10. 統計指標から知る健康問題とその対応 (演習)			
～第 14 回	(健康問題を示すデータ、現状を引き起こす原因、誘因、今後の対策)			
第 15 回	認定試験・まとめ			
自己学習・ 関連科目	身近な健康問題に関するデータや活動に関心をもつ。 関連科目: 「看護学概論 I」の看護の役割や「医療概論」における医療施策、さらに「地域・在宅看護概論」で地域・在宅における看護の役割や支える制度等と関連させながら学ぶ。			
テキスト	新体系看護学全書 別巻 ヘルスプロモーション メヂカルフレンド社			
参考図書	国民衛生の動向			
評価方法	筆記試験: 80%、および課題レポート等: 20%			
備考				

独立行政法人国立病院機構金沢医療センター附属金沢看護学校授業計画 (Syllabus)

分野	授業科目名	単位数	時間数	開講時期
専門基礎	健康論Ⅱ	2	30	2年次・1学期
担当講師	非常勤講師			
授業概要	人間を取り巻く社会環境と健康との関係について学ぶ。			
授業目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会変動過程に関心を持ち、健康を広くとらえる視点を身につける。 2. 健康を阻害する社会的要因について理解を深める。 3. 「誰もが暮らし続けられる社会」について、自分のことばで論じられるようになる。 			
回数	授業内容			担当者
第1回	1. ガイダンス			
第2回	2. 社会変動と私たちの暮らし			
第3回	3. 社会的ジレンマとしての環境問題			
第4回	4. 環境問題の変遷と私たちの暮らし			
第5回	5. 都市の生活と健康			
第6回	6. 社会保障制度の役割と機能			
第7回	7. いのちを選ぶということ			
第8回	8. 自然災害と被災者生活の課題(1)			
第9回	9. 自然災害と被災者生活の課題(2)			
第10回	10. 避難所・仮設住宅における諸課題と基本的人権			
第11回	11. 避難行動要支援者対策			
第12回	12. ボランティアの社会的役割と機能			
第13回	13. 過疎高齢社会と地域コミュニティ			
第14回	14. 減災社会とは			
第15回	15. 総括：誰もが暮らし続けられる社会とは 認定試験			
自己学習	日本国憲法、世界人権宣言に目を通し内容を理解する(講義内で紹介する) 関連科目：看護の実践Ⅰ			
テキスト	特になし			
参考図書	国民衛生の動向			
評価方法	筆記試験：50%、小テスト：20%、課題レポート等：30%を総合的に判断し評価する。			

